

令和 7 年 4 月 24 日

ご門信徒 様

光照寺運営委員会

春季法要勤修に関するお礼

4 月 19 日（土）、20 日（日）に春の法要（2 日間・計 3 法座）を、延べ 70 名以上の皆様にご参拝いただき、無事に勤める事が出来ました。これもひとえに、御門信徒様並びに有縁の皆様方の御懇志の賜だと厚く御礼申し上げます。

また、法要前の準備、法要当日の運営にご協力いただいた御門信徒様並びに有縁の皆様方に対して、重ねて心より謝意を申し上げます。

御門信徒の皆様から賜りましたご浄財は、標記の会計収支の通り対応致しましたのでご報告します。

なお、今年のこれからの光照寺での仏事（お盆合同法要等）行事に際しまして、精進していく所存です。老若男女問わず、又御門信徒様の有無に関わらず、一人でも多くの皆様にご参拝いただきますよう、よろしくお願い致します。

記

収入	支出
志納金 370000 円	講師御礼 100000 円
(60 名) 4 月 24 日 時点	諸雑費 6418 円
合 計 370000 円	合 計 106418 円

* 収支の残高 263582 円は、今後の寺院活動に活用させていただきます。
以上

春季法要 「親鸞聖人お誕生会・御門信徒総永代経」

日時：令和 7 年 4 月 19 日（土）昼席 1 3 時半

20 日（日）朝席 1 0 時半 昼席 1 3 時半

場所：光照寺

講師：秦秀道師（はたしゅうどう）法照寺 糸島市

濱寄重信師（はまさきしげのぶ） 光照寺

スケジュール お勤め 正信偈 ご法話

お勤め（正信偈） お焼香（仏説阿弥陀経） ご法話 法名紙返却

ご法話の一部を掲載

仏教のお話を聞くととは・・・

聞くということは、知るということと大いに関連してくるようです。自分以外のこと、他のことは分かるかもしれませんが、自分のことは、知っていますか？善導大師は、「お経には、教えが書かれている、それはたとえば言うならば自分自身を映し出してくれる鏡のようなものです」と、言われています。御門信徒総永代経法要というのは、永代経というお経があるということではありません。仏様になられたご先祖が永い間交代しながらお経（教え）を伝えてきた。つまりそれは、鏡を通して、今のこの私、自分自身に気づき知って欲しいと仏様（ご先祖）が、願い続けていることを聞く法要だと思います。

鏡を見ることによって自分の生き方を確認することがありますか？



人は、自分の生き方を指摘されると、受け入れがたいです。かといって自身の生き方を省みるかと言われるとそれも難しいようです。自身を知ろうとすることは、人生の「深まり」と「確かさ」につながりそうです。

教えを聞くということは、自分の存在を、無条件に許され信じてもらうことです。その時、初めて自身の身に起こった辛いこと・悲しいこと・苦しいことを告白出来ませんか？NHK 朝ドラ『あんぱん』にもあるように、なんのために生まれて なにをして生きるのか こたえられないなんて そんなのはいやだ。親鸞聖人お誕生会とは、親鸞聖人のお誕生を通して、お一人お一人が生まれた、生きた意味を問うていく法要ではないでしょうか。

